

マンガ文化論Ⅱ

科目ナンバリング ARL-102
選択 2単位

萩原 由加里

1. 授業の概要(ねらい)

現代の日本マンガの基礎を築いた作品を取り上げることで、なぜマンガが文化と呼ばれるレベルに至ったのかを考えていく。図版や時には映像を交えながら授業を進めていきます。

2. 授業の到達目標

- 1、マンガを単なる趣味ではなく、学術的な手段を用いて分析する能力を身につける。
- 2、作家の生い立ちや時代背景を踏まえることで、作品単体の分析では見えてこない、新たな読解力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

期末レポート60%、平常点(毎回の小レポート)40%

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書:なし

参考文献

竹内オサム・西原麻里編著 『マンガ文化55のキーワード』(2016) ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

毎回の授業で、次回に取り上げる作者と作品を紹介するので、その作者が活躍した時代の社会的・政治的な出来事を図書館やネットを使って調べ、時代背景を把握したうえで授業に臨むこと。

6. その他履修上の注意事項

受講生の興味にあわせて取り上げる作品を変更することもあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 マンガ文化とは?
- 【第2回】 白戸三平 一歴史を描く
- 【第3回】 つげ義春 一夢の世界
- 【第4回】 椋図かずお 一ホラーを描く
- 【第5回】 さいとう・たかを 一政治とのリンク
- 【第6回】 海外との比較 一フランス・BD
- 【第7回】 細田不二彦 一専門業界の裏側を描く
- 【第8回】 少女マンガの系譜1 一萩尾望都
- 【第9回】 少女マンガの系譜2 一山岸涼子
- 【第10回】 高橋留美子1 一少年マンガと少女マンガの交流
- 【第11回】 高橋留美子2 一女性マンガ家としての新たな境地
- 【第12回】 諫山創 一メディア・ミックスとしてみた『進撃の巨人』
- 【第13回】 『鬼滅の刃』一デビュー作から大ヒット作への軌跡
- 【第14回】 リクエスト特集回
- 【第15回】 マンガ文化の奥深さ